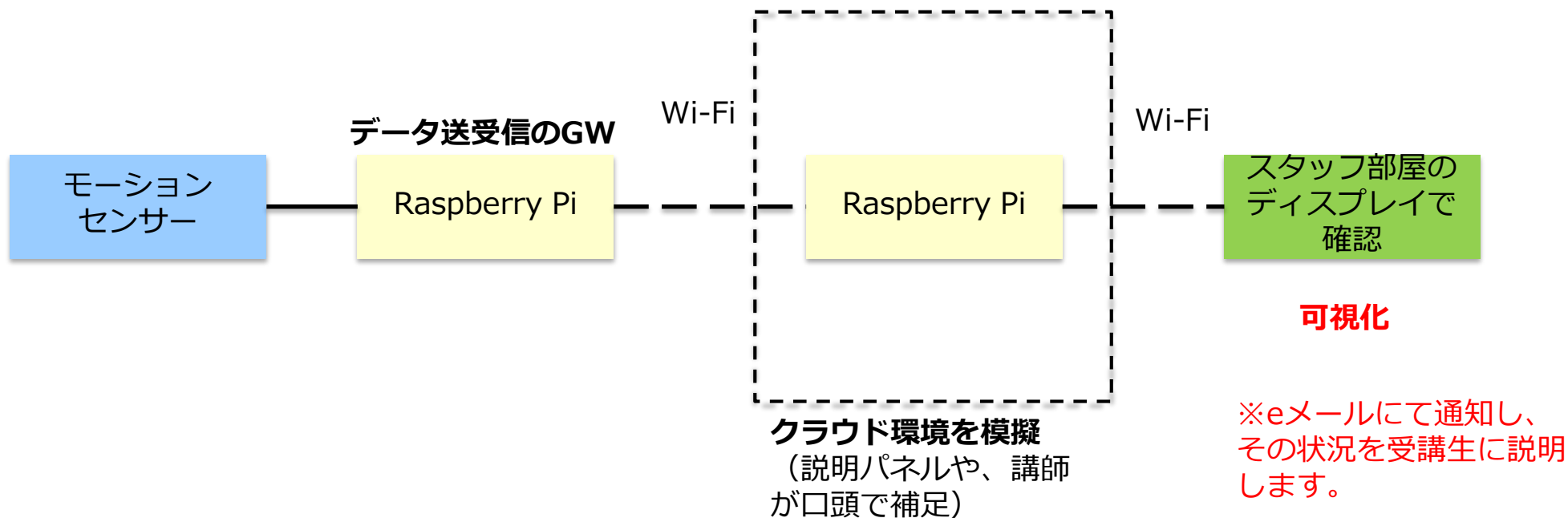


# デモ機（介護）

## 設定

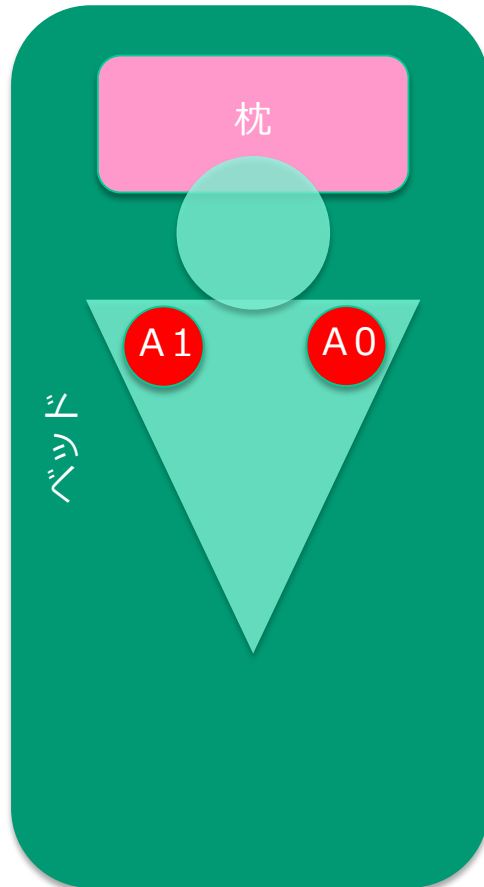
こちらの介護施設では、利用者のベッドに転落防止の柵を付けず、ベッドに圧力センサーを取り付けて、利用者がベッド上で寝ているのか、離床しているのか、座っているのかを可視化しています。というのも、転落防止の柵は、ご家族を含め利用者が檻に入れられている感覚になるとのことで、付けることを嫌がる利用者が増えているためです。圧力センサーの取り付けにより、例えば夜間に利用者がトイレに行こうと起き上がった際、スタッフの部屋のディスプレイ上に、離床した表示がなされます。スタッフは利用者の状況を速やかに把握できるようになりました。



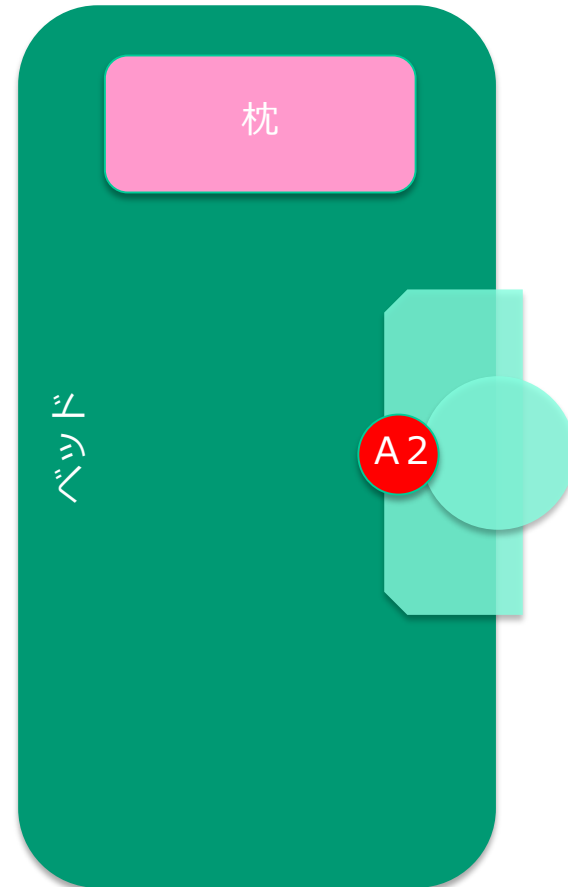
# デモ機（介護）

● 圧力センサの配置

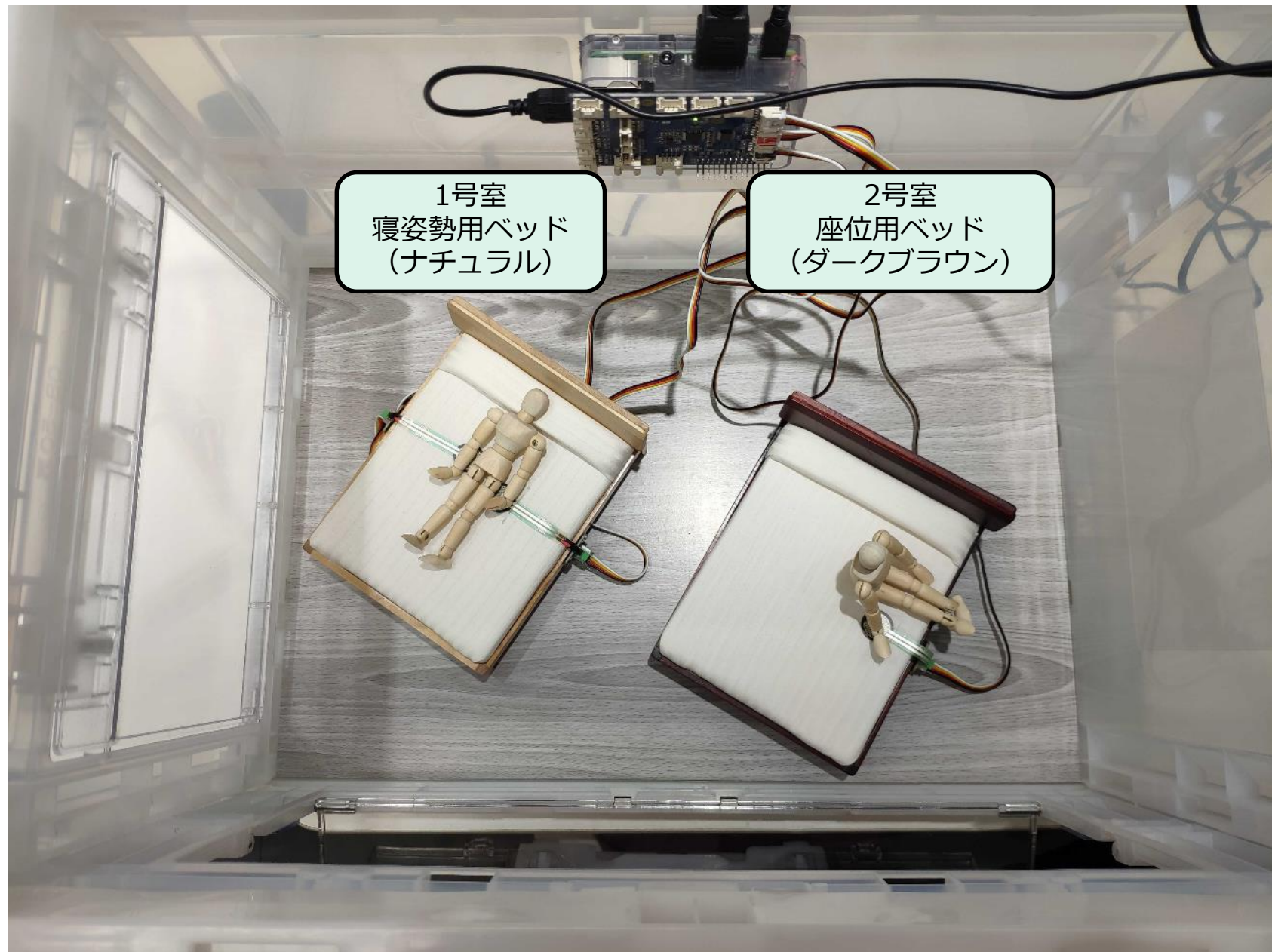
1号室（寝姿勢）



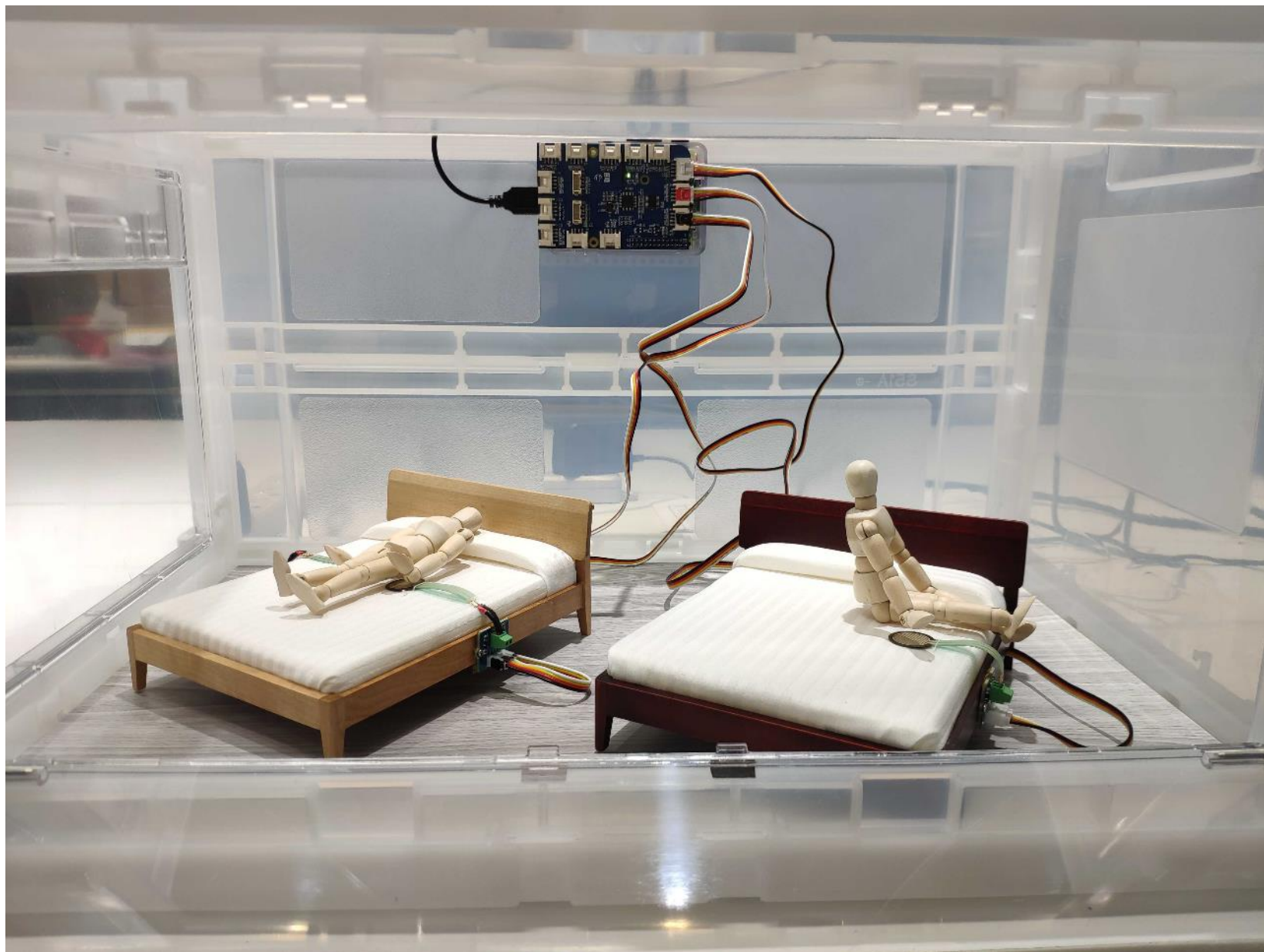
2号室（座位）



# デモ機（介護）メカ部

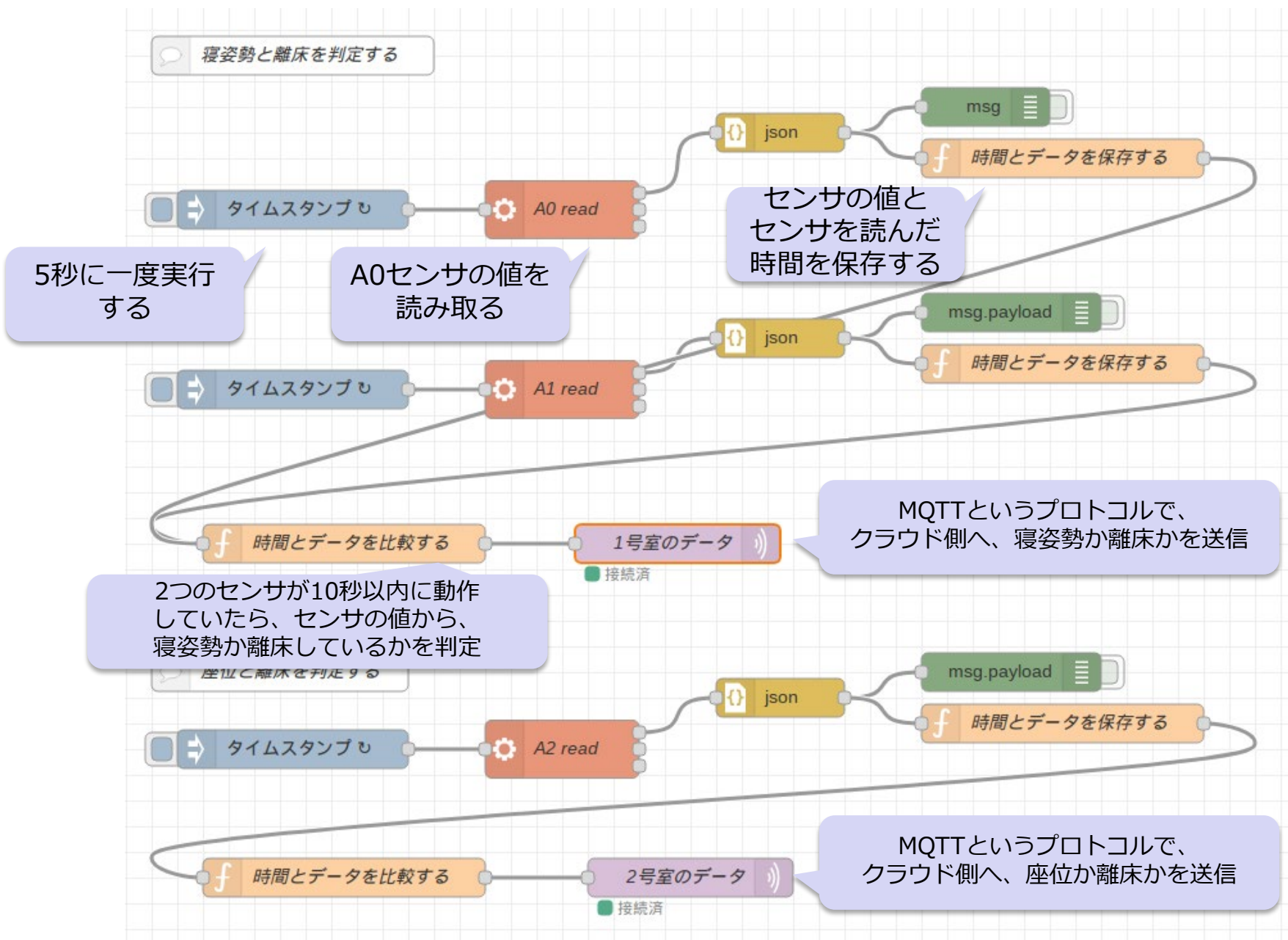


# デモ機（介護）メカ部

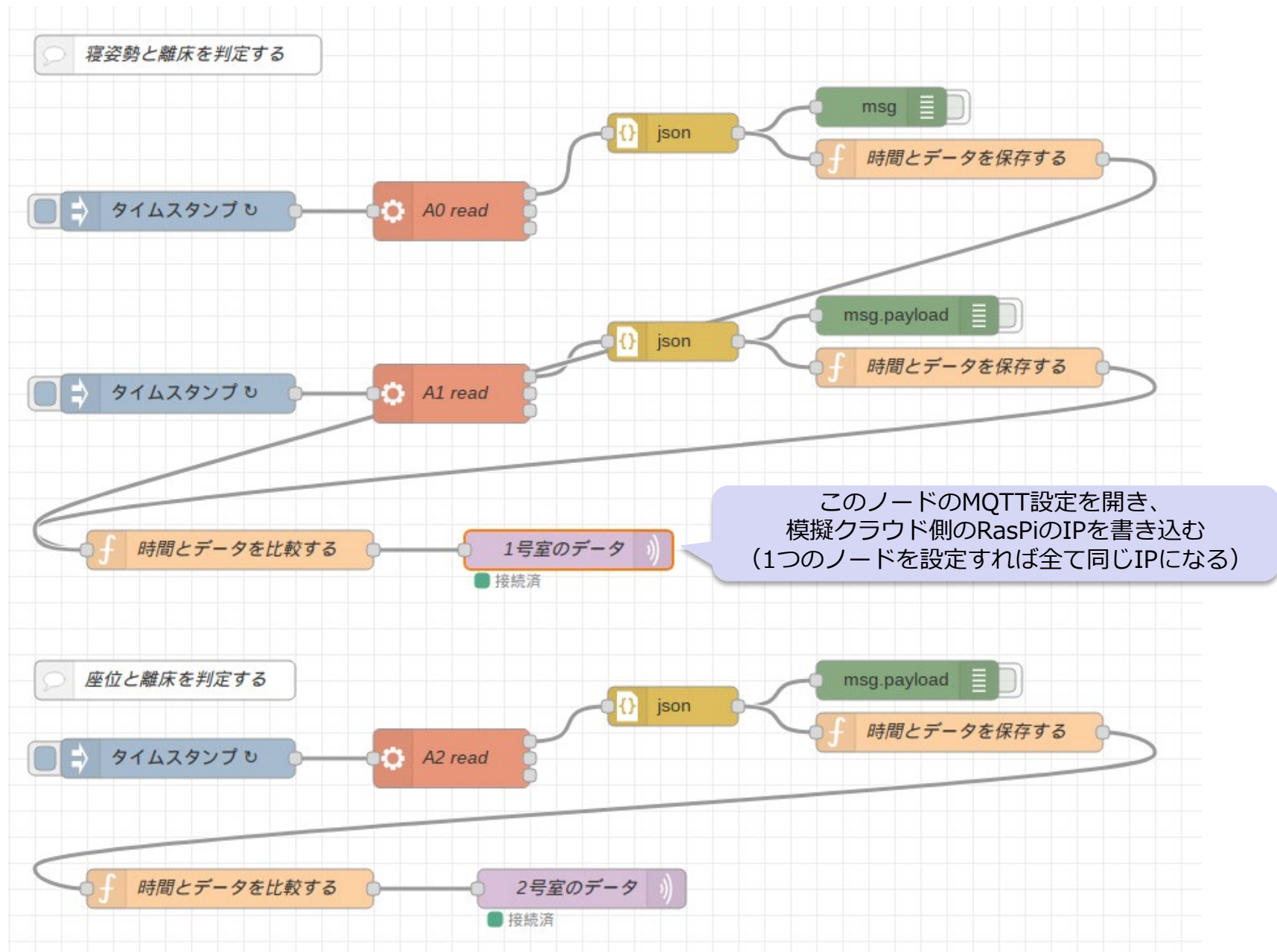




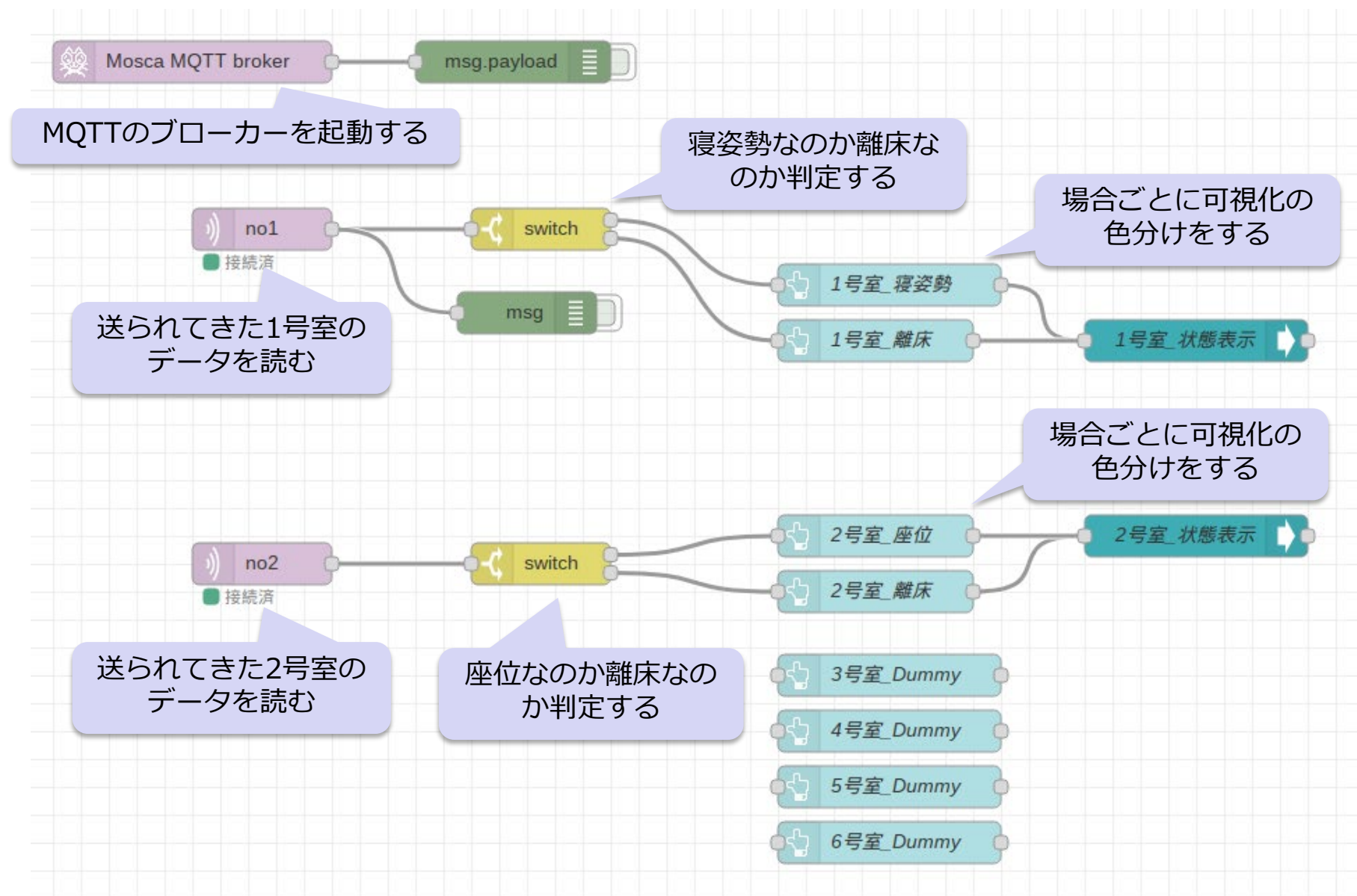
# デモ機（介護） 部屋内壁貼付のクライアント側の動作フロー



# デモ機（介護） 部屋内壁貼付のクライアント側のIP設定



# デモ機（介護）スタッフ部屋の模擬クラウド側の動作フロー



# デモ機（介護）スタッフ部屋の模擬クラウド側の可視化部

1号室 離床

2号室 離床

3号室 寝姿勢

4号室 寝姿勢

5号室 寝姿勢

6号室 寝姿勢

寝姿勢の場合は  
黒背景に白文字  
「1号室 寝姿勢」

離床の場合は上記  
黄緑背景に黒文字  
「1号室 離床」

座位の場合は  
水色に白文字  
「1号室 座位」

離床の場合は上記  
黄緑背景に黒文字  
「2号室 離床」